

第63回
気仙沼みなとまつり

報 告 書

開催日：平成26年8月2日（土）
8月3日（日）

気仙沼みなとまつり委員会

1. 開催にむけての経緯（主催団体長会議・企画部会活動）

(1) 平成25年11月1日に行われた気仙沼みなとまつり委員会の主催団体長会議において、平成26年の「第63回気仙沼みなとまつり」開催についても話題に上がった。東日本大震災の被災地での花火打ち上げを行ってきた「LIGHTUP NIPPON」と合わせて開催する場合、平成26年の8月11日は月曜日になることから、平日の花火打ち上げを避けるため、開催時期を震災前の8月第1日曜日とその前日に戻す方向で、関係先も含めて検討が進められることとなった。

(2) その後、平成26年2月24日の第1回企画部会までに関係先との間で調整・検討を進めた結果、日程については、従来の8月第1日曜日とその前日（8月2日（土）、3日（日））に戻すことを主催団体長会議に提案することが企画部会内で決まった。同じく、第1回企画部会では開催行事の内容と開催スケジュールについて大まかな候補案を出し合い、次回企画部会までに各自検討したうえで候補案を絞り込むこととした。

平成26年3月14日の第2回企画部会では、開催行事の内容とスケジュールについて検討を進めた。特に街頭パレードの日曜日開催への移動と打ちばやし大競演の会場候補地については、各委員から意見を出し合ってもらいながら候補を絞り込んで行った。結果としては、8月2日（土）に陸上行事（街頭パレードとはまらいんや踊り）を田中前大通りで、3日（日）に海上行事（打ちばやし大競演、海上うんづら、海上打ち上げ花火、大流灯）を内湾地区で開催し、打ちばやし大競演はエースポート跡地の市営駐車場を会場に開催することを主催団体長会議に提案することで決まった。なお、みなとまつりの方向性については、開催要領の目的の文章表現を「鎮魂」から「復興」の色合いをやや強める表現にすることも合わせて提案された。

(3) 3月28日開催の主催団体長会議で、みなとまつり骨子案として、大まかな開催行事と日程が決められたものの、2日目海上行事の開催スケジュールや打ちばやし大競演の会場については、港町臨港道路の復興工事の進捗状況や観客の安全確保など検討課題が多くあり、確定までは時間を要した。企画部会や打ちばやし幹事会でこれら検討課題を解決に近付ける努力を重ねて行き、関係当局や会場周辺住民、事業所の協力をいただいて、海上行事については開催スケジュールと会場の案を決定し、7月の主催団体長会議に諮ることができた。

(4) 7月の主催団体長会議に諮った実施内容については下記のとおり。

8月2日(土)

□昼の部

○「オープニングセレモニー」

(田中前大通り・北日本銀行駐車場) 14:15 ~15:00

○街頭パレード

(田中前大通り・パレードコース約670m) 15:00 ~17:00

□夕の部

○「はまらいんや踊り」

(田中前大通り) 17:30 ~20:00

8月3日(日)

○「打ちばやし大競演」

(内湾臨港道路) 17:00 ~20:15

○海上うんづら・第1部

(内湾南側岸壁) 17:00 ~18:40

○海上うんづら・第2部

(内湾海上) 19:05 ~20:15

○海上打ち上げ花火

(気仙沼湾内) 19:45 ~20:15

○大流灯：立正佼成会石巻教会気仙沼支部様による

(内湾海上) 20:15 ~20:45

○「閉会セレモニー」

(港町臨港道路) 20:30 ~20:45

協賛行事

■7月24日(木)

東日本大震災復興チャリティーイベント

元気祭り2014 inみやぎ (気仙沼市総合体育館)

ウルトラヒーローショー 15:00 ~

I GFプロレス 19:00 ~

■8月2日（土）

南町紫市場 ‘14夏まつり （気仙沼復興商店街南町紫市場）

11:00 ～18:00

POKEMON with YOU キャラバン 2014

（田中前・八木自動車駐車場、福幸小町田中前通り駐車場）

14:00 ～20:00

■8月3日（日）

南町紫市場 ‘14夏まつり

（気仙沼復興商店街南町紫市場） 10:00 ～21:00

2. みなとまつり委員会内の各部会・委員会の準備活動について

総務部会： 各部会の連絡・調整。海上規制や交通規制のための関係当局との調整。出店設置のための準備・調整。

広報部会： まつりチラシの作成・配付、まつりポスターの作成、メディアへの対応。

警備部会： 交通規制実施に向けての関係当局との調整。まつりに係る事故防止に向けて、防犯、交通指導、消防などに関する市民団体との連絡・調整。

大口協賛金募金委員会： 大口協賛金などの依頼、街頭募金の実施、まつり募金箱の設置・回収のための準備と会議の実施。

3. まつり行事内容について

＜8月2日（土）＞

（1）オープニングセレモニー

14:15に開始。（社）気仙沼青年会議所メンバーによる「銀鱗太鼓」がオープニング演技として行われた。今回の「銀鱗太鼓」では、斎藤菜月さんと岡本優子さんの共同作曲による新曲の「昇里（のぼり）」が初披露された。オープニング演技につづいて、大会会長である菅原茂市長、駐日インドネシア共和国大使館ユスロン イーザ マヘンドラ特命全権大使の挨拶、来賓紹介までを北日本銀行気仙沼支店駐車場内のメインステージで行った。

その後、街頭パレードの出発式のため、会場をパレードのスタート地点に移動、大会会長、来賓、関係役員が気仙沼市民吹奏楽団のファンファーレを合図にテープカットを行って、街頭パレードのスタートに繋がった。

（2）街頭パレード

田中前大通りのモスバーガー付近から朝日生命付近まで、途中停止演技を織り交ぜな

がら、街頭パレードが行われた。先導車の1台めには、菅原茂大会会長、菅原昭彦実行委員長、ホヤぼーやが乗車、2台めには駐日インドネシア共和国大使館ユスロン イーザ マヘンドラ特命全権大使ご一行と臼井賢志気仙沼商工会議所名誉会頭が乗車、以下、参加団体がそれぞれの間合いで続き、パレードが進行した。

参加団体の構成は、地元の企業や団体が中心の構成であり、今回は、「キッズチアダンス気仙沼Cherish☆」と「SCK GIRLS」が初めて参加した。市外からは一関市室根町のむろね南流太鼓と仙台の陸上自衛隊東北方面音楽隊が参加し、パレードを盛り上げた。なお、オープニングセレモニーから街頭パレードまでの司会は、地元出身のフリーアナウンサー岩手佳代子さんと（一社）気仙沼青年会議所の担当者が務めた。

各団体で運行速度や間合いの取り方が違っていたこともあり、後半以降の団体はゴールまでの通過時間が当初の予定よりも遅れるようになり、最終団体のゴール到着・撤収完了は17:25ごろであった。また、一部参加団体からは開催日程の移動について引き続き要請を受けている。こうした課題は次回以降慎重に審議しなければいけない。

（参加14団体、約700名）

（3）はまらいんや踊り

街頭パレードの終了後、当初の開始予定時間（17:30）通り、はまらいんや踊りが始まった。ただし、街頭パレードの撤収完了が17:25だったため、会場の東端からスタートする団体については、整列・準備の時間が短くなってしまった。

はまらいんや踊りには、市内の学校、サークル、事業所から参加者が集まったほか、この日のために帰省してきた気仙沼市出身者、そして、震災直後から気仙沼のためにボランティア作業に駆けつけて下さった方々など多くの人々にご参加いただいた。特にボランティア団体の参加者は前回よりもさらに増えて、全体でも600人近く増加している。市内からの参加者は気仙沼の元気を発信するために、市外からの参加者は気仙沼市民を元気にするために、それぞれの思いが踊りに込められ、その思いが最大限に発揮される場となった。

はまらいんや踊りの曲は、気仙沼市出身バイソン片山氏が率いるバイソンバンドが担当、気仙沼出身のジャズピアニスト岡本優子さんもまじえて、みなとまつりならではのぎやかな演奏を披露した。ステージ上ではバイソンバンドと一緒に地元の小学生が今回も掛け声隊として熱唱し、楽しい踊りに花を添えてくれた。また、気仙沼市内の打ちばやし団体が踊りコースの交差点ごとに太鼓を設置して演奏し、勇壮な太鼓の音で祭りを盛り上げてくれた。

ごく一部の参加団体についてマナーや遵守事項が守られていなかったことが他の参加団体などから指摘されている。マナー向上の方策として「はまらいんや大賞」を復活させようとする案も企画部会の中から上がっているが、みなとまつりの目的にそぐわない行動をとった参加団体に対しては、改善を求めて行く必要があると思われる。

次回以降もボランティア関連団体の参加者や事業所単位での復活参加など人数の増加が見込まれる半面、会場内の収容人数は今回が限度と思われるため、参加人数の制限

などについての検討も考えられる。

(参加60団体、約3,100名)

<8月3日(日)>

(4)「打ちばやし大競演」

17:00 から内湾臨港道路を会場に「打ちばやし大競演」が実施された。市内の和太鼓団体を中心に近隣所在の太鼓団体も含めて26団体、約700名が打ち手として参加、お魚いちば付近からカメイ気仙沼中央SS付近までの約220mの路上に太鼓600基余りを並べて勇壮な太鼓演技が披露された。

前回、会場として使用した港町臨港道路4車線はかさ上げ工事に入ったため使用できず、今回は会場を内湾側へ移動して実施した。間口の距離は前回(300m)に比べて短くなったが、会場周辺の車両交通を一切封鎖したことで、太鼓演奏場所の奥行きが広くなり、観客との距離も近付けられるようになったことから観客との一体感は前回以上に高められた。

今回もサンマ漁船「第八十一豊清丸」中館漁労長ほか乗組員さんのご協力によって、同船舶搭載の最新鋭LED集魚灯も披露していただいた。岸壁のサンマ漁船の光と陸の太鼓が織り成す港町気仙沼ならではの祭り風景が今回も見られることができた。

(参加26団体、約700名)

(5) 海上うんづら

(一社)気仙沼青年会議所による「海上うんづら」は、2年ぶりに内湾での運航演技を行った。一昨年よりも台船が大きくなったことで、太鼓、ねぶたのほか七福神も搭載するなどしてパワーアップし、17:00からの停船演技スタートのため、岸壁に接岸した際には見る人を圧倒していた。

19:05からの運航演技では内湾海上を周回しながら、陸上の打ちばやし団体と同時に太鼓演技を披露していた。内湾海上に浮かぶうんづらも港町気仙沼ならではの祭り風景であった。

(6) 海上打ち上げ花火

今回のみなとまつりのクライマックスとして19:45から海上打ち上げ花火を実施した。(花火業者:仙台 芳賀火工)今回は、陸上に打ちばやし大競演、海上に(一社)気仙沼青年会議所のうんづら、上空に花火といったように、震災前のみなとまつりと同じ構成で海上行事を実施することができた。

今回からはLIGHT UP NIPPON 実行委員会による東日本大震災被災地一斉打上花火から離れて開催することになり、時間帯は前回に比べて45分ほど遅くなった。花火の打ち上げ時間は30分間となり、短くはなったが、打ちばやし大競演、海上うんづらとの同時進行によって、クライマックスにふさわしく中味の濃い打ち上げ花火を展開することができた。

(7) 大流灯

立正佼成会石巻教会気仙沼支部による大流灯は、海上打ち上げ花火終了後の20:15から開始された。2年ぶりに内湾海上に灯籠が浮かべられたものの、復興工

事との兼ね合いで、範囲を限定し、灯籠の数も減らして実施していただくこととなった。

復興への一体感を形成していくためのみなとまつりではあるものの、真の復興は依然として途上の段階にあると思われる。震災によって多くの方々が亡くなり、当市も甚大な被害を受けたことはやはり忘れ難いことであり、2年ぶりに大流灯が実施されたことによって、鎮魂の思いをもってまつりを締めくくることができたことは、それはそれで良いことのように思われる。

4. 協賛行事などについて

(1) 東日本大震災復興チャリティーイベント

元気祭り2014 in みやぎ (7月24日)

イノキ・ゲノム・フェデレーションの主催によって気仙沼市総合体育館を会場として開催された。

15:00 からの「ウルトラヒーローショー」には、子供連れの観客が訪れ、ショーのほかに握手会なども行われ、ヒーローたちと身近で接する機会を作ることができた。

19:00 からの「IGFプロレス」では、有名選手によるプロレス対決をメインにアントニオ猪木氏のあいさつやボブサップ選手と子供達の腕相撲対決、サイン会、撮影会等が行われた。

(観客数:「ウルトラヒーローショー」300人、「IGFプロレス」1,000人)

(2) 『POKEMON with YOU キャラバン2014』

「ポケモンを通じ、こどもたちが集い、自然にコミュニケーションが生まれる環境」を創り出すことを目的に、福幸小町田中通り駐車場と八木自動車整備工場(株)駐車場を会場として、14:00 から 20:00 まで開催された。

福幸小町田中通り駐車場にはポケモンステージやポケモングッズの特設販売スペースが、八木自動車整備工場(株)駐車場にはピカチュウビッグふわふわといった遊具などが設置され、小さい子供達や家族連れの観客でにぎわっていた。

(3) 『南町紫市場 '14夏まつり』

8月2日(土)、3日(日)の2日間、南町紫市場を会場に市内の打ちばやし団体による太鼓競演、特設ステージでのライブ、お楽しみ抽選会などが行われた。

8月3日(日)は、会場付近の市道を歩行者天国として、子供みこしや縁日、太鼓競演などを開催した。

(4) 出店

8月2日(土)、3日(日)ともに、みなとまつり委員会としては出店場所の確保と調整は行わず、事業者による自主出店の形式をとることとなった。

5. みなとまつり期間中の天候

◇ 8月2日（土）

雲の多い天候で、周辺地域では夕立ちなども発生していたようである。まつり会場でも午後 6 時前後に若干のわか雨が降った。ただし、行事運営に影響を与えるような雨量ではなく、初日の行事は比較的天候に恵まれていた。（最高気温 30.5度）

◇ 8月3日（日）

日中から晴天に恵まれ、終日、降雨の心配が無いまま、まつりを進めることができた。海沿いの会場であったため気温も極端には上がらなかった。花火打ち上げ時間帯の風量も煙を散らせることができるくらいの量であった。（最高気温 29.4度）

6. 人 出

まつり当日の人出は、8月2日（土）が 33,000人、8月3日（日）が35,000人だった。

8月2日（土）は、前回平成25年8月10日（土）の31,000人から2,000人の増加、8月3日（日）は前回平成25年8月11日（日）の32,000人から3,000人増加の人出となった。2日（土）については、はまらいんや踊りの参加者の増加が、3日（日）については、まつり行事のほかに近隣での独自イベントの開催が人出の増加につながったものと思われる。

7. シャトルバスほか交通機関の臨時便について

シャトルバスは、気仙沼市内バス会社3社に依頼し、8月2日（土）は6つのコースを、3日は7つのコースを運行した。

8月2日（土）

- | | |
|------------------------|--------------|
| ①気仙沼向洋高校 ⇄ 市立病院入口 | (利用者 延べ159人) |
| ②松岩小学校 ⇄ 市立病院入口 | (延べ121人) |
| ③鹿折小学校 ⇄ 市立病院入口 | (延べ 48人) |
| ④気仙沼西高校 ⇄ 反松公園住宅前 | (延べ141人) |
| ⑤唐桑ルート（中井小学校他 ⇄ 南郷） | (延べ 2人) |
| ⑥一関ルート（千厩駅前他 ⇄ 市立病院入口） | (延べ 7人) |

8月3日（日）

- | | |
|--------------------------|----------|
| ①気仙沼向洋高校 ⇄ 河原田 | (延べ200人) |
| ②松岩小学校 ⇄ 河原田 | (延べ186人) |
| ③鹿折小学校 ⇄ 河原田 | (延べ246人) |
| ④気仙沼西高校 ⇄ 河原田 | (延べ 69人) |
| ⑤条南中学校 ⇄ 河原田 | (延べ173人) |
| ⑥唐桑ルート（中井小学校他 ⇄ 煎餅坂・河原田） | (延べ 80人) |
| ⑦一関ルート（千厩駅前他 ⇄ 煎餅坂・河原田） | (延べ 29人) |

気仙沼線 BRT については、JR 東日本で8月2日と3日の両日、午後8時30分気仙沼駅発本吉駅行きの臨時便を2台設定していただいた。

8月2日（土） 1号車30人、2号車 2人、合計 32人

8月3日（日） 1号車70人、2号車40人、合計110人

大島汽船については、8月3日に大島行き臨時便を2便設定していただいた。

午後8時10分発 「旅客船海来」

乗船者 大人162人 小学生 34人 合計196人

午後8時30分発 「フェリー亀山」

乗船者 大人 71人 小学生 14人 合計 85人

2便合計 大人233人 小学生 48人 合計281人

(全体利用者数：888人)

8. 出 動 (2日間の延べ人数・カッコ内は第62回での延べ人数)

気仙沼警察署	170人	(181人)
気仙沼市交通指導隊	64人	(66人)
気仙沼市防犯実働隊	118人	(103人)
気仙沼海上保安署	14人	(14人)
気仙沼消防署(消防本部含む)	73人	(90人)
気仙沼消防団	60人	(88人)
気仙沼市役所	241人	(約270人)
気仙沼市青少年育成支援センター	17人	(14人)
自主警備臨時職員	42人	(47人)
自主警備・警備艇	12人	(13人)
警備会社	40人	(90人)
気仙沼商工会議所	51人	(約 60人)
気仙沼地域開発	10人	(約 40人)
気仙沼復興協会	11人	(約 40人)
LIGHT UP NIPPON ボランティアツアー参加者	—	(約 25人)
早稲田大学学生ボランティア	108人	(約110人)
明治大学阪井ゼミ学生ボランティア	22人	(約 15人)
合 計	1,053人	(約1,265人)

9. 警備・交通規制

8月2日（土）は、14:00～21:00 まで田中前大通りのモスバーガー付近交差点から朝日生命付近交差点までを車両進入禁止とし、一本北側の市道を東行き、一本南側を西行きの一方通行道路として設定して、交通混雑の緩和に努めた。

8月3日（日）は、15:00～21:00 まで臨港道路のうち港町ローソン付近からお魚

いちば付近までと内湾の坂口交差点から復興屋台村前交差点までを車両進入禁止道路とした。

なお、会場地域以外では、潮見町、朝日町、川口町の一带を 16:30~20:30 まで車両進入規制区域にした。

港町から魚町までの岸壁については、危険防止のためバリケードを設置した。同様に会場にも警備艇を配置している。なお、警備については、前回までの配置方式から巡回方式に変更した事で要員と経費負担を削減することができた。

10. 事 故

まつり期間中に会場付近で発生した事故等の件数は以下の通り。

人身事故0件、物損事故0件、けが人0件。

遺失5件、拾得物35件(即時返還9件)、迷子4人・迷い人3人、少年補導10人、酔っ払い保護2件、救急搬送1件。

今回は無事故で全行事を終了。気仙沼海上保安署、気仙沼警察署、気仙沼消防署ほか警備に携って頂いた各団体の協力に感謝を申し上げたい。

11. 清 掃

まつり会場内にエコステーションを設置し、今年も学生ボランティアの呼びかけにより、来場者には分別の徹底やゴミの持ち帰りにご協力をいただいた。

会場周辺の清掃は8月3日(日)早朝に田中前大通り周辺地区を、8月4日(月)早朝に内湾地区および港町地区を下記の団体にご協力いただいて実施した。

早朝清掃協力者

気仙沼シルバー人材センター、市民憲章(協)、(株)気仙沼商会 海友婦人会
気仙沼市役所、気仙沼海友会、商工会議所、(株)小野良組、市婦連、清港会

田中前地区については、付近のお住まいの方々や事業所の方々が定期的に清掃や草取りなどを行っており、今回もきれいな状態で祭りを実施できた。

お魚いちば付近の岸壁は降雨のたびに水たまりが発生して、なかなか乾き切らない状態にあった。管理者である県当局のお力添えにより、岸壁には水はけのための切り込みが入れられたことで、以降、水たまりが解消され、岸壁上での太鼓演技も支障なくできた。また、港町臨港道路のかさ上げ工事については、みなとまつりに合わせて休工期間に入るよう進められていた。こうした協力によって、復興工事のさなかにあっても安全にまつり行事を進めることができたことを付記して、関係の皆様感謝を申し上げたい。